

2021年4月19日

「スマートフォン用カメラの進化を支える 高精度三次元測定機の開発」で市村産業賞貢献賞を受賞

パナソニック プロダクションエンジニアリング株式会社は、「スマートフォン用カメラの進化を支える高精度三次元測定機の開発」の功績に対して公益財団法人 市村清新技術財団より、第53回市村産業賞の貢献賞を受賞し、4月19日に贈呈式が行われました。高精度三次元測定機は、第34回市村産業賞において「原子間力プローブ搭載超高精度三次元測定機の開発と実用化」で功績賞を受賞しており、2回目の受賞になります。



本開発の超高精度三次元測定機 (UA3P)

■受賞内容

テーマ:「スマートフォン用カメラの進化を支える高精度三次元測定機の開発」

受賞者:パナソニック プロダクションエンジニアリング(株) 標準機事業センター 標準機技術一部
半田 宏治、田中 仁、舟橋 隆憲

技術内容:スマートフォン用カメラの多画素化や多眼化に伴うレンズの小型・高性能化を実現するため、レンズ及び、レンズユニットの三次元形状をナノオーダーで測定可能な以下の測定技術を開発しました。

1. 測定物の垂直な面において ± 50 nm以下の世界最高精度の測定を実現した側面測定技術、及び側面測定技術と従来の上面測定技術を融合し、レンズユニット全体形状を ± 100 nm以下の精度で評価する三次元形状評価技術
2. レンズ等の面形状を従来比1/4(± 10 nm以下)で高精度測定、および75度までの高傾斜部の測定を実現した新上面測定技術

以上により、スマートフォン用カメラ市場のニーズを満たす新たな超高精度三次元測定機 (UA3P) の開発・実用化を行いました。

■超高精度三次元測定機 製品サイト

<https://www.panasonic.com/jp/company/ppe/ua3p.html>

<参考>

市村産業賞について[表彰の趣旨]

リコー三愛グループ各社を統轄した創業者、故市村清氏の昭和38年4月29日紺綬褒章受賞を記念して、市村賞を創設し、科学技術の普及啓発に資するとともに科学技術水準の向上に寄与することを目的としています。

本表彰はわが国の科学技術の進歩、産業の発展に顕著な成果をあげ、産業分野の進展に多大な貢献・功績のあった技術開発者に対して行います。(公益財団法人 市村清新技術財団の第53回市村産業賞推薦要綱に掲載された表彰の趣旨を引用しています)

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。